

# 2019年度JATA事業骨子

## 2020年度までの目標

-双方向交流6000万人(海外:2000万人、訪日:4000万人)-

- 2020年東京オリンピック・パラリンピックを機会に観光大国実現に向けた政策目標
  - A. 日本の旅行業界の国内・国際における地位向上、確立
  - B. ツーリズムEXPOジャパンがITB,WTMと並ぶ世界三大ツーリズムイベントの地位確立
  - C. 働き方改革・休み方改革の推進
- 双方向交流拡大に向けた目標(参考:2020年6000万人、2030年9000万人:海外3000万人、訪日6000万人)
  - D. 海外旅行者2000万人達成へ向けた需要喚起・拡大、日本の海外旅行市場のプレゼンスアップと旅行会社の取扱い拡大に向け、旅行会社の価値向上を目指す
  - E. 国内旅行の宿泊拡大、地域分散化による需要拡大を目指した施策の実行
  - F. 訪日旅行者4000万人に向けた業界の課題解決施策の実行

## 2019年度事業骨子

-チャレンジ&トライ-

### 事業領域活動

1. 海外旅行者2000万人に向けた需要喚起施策推進と旅行会社の取扱い拡大
  - ・制度面:「アウトバウンド促進協議会の推進」「主要旅行先とのMOU活動」「安全情報プラットフォーム推進」
  - ・運動面:日中・日韓や主要国・地域のMOUに基づくプロモーション、国の外交政策に観光交流で協力、美しい村30選等、海外修学旅行促進、TEJ出展促進、若者のアウトバウンド活性化プロジェクト
2. 国内旅行市場の活性化に向けた施策と連携
  - ・制度面:貸切バスツアー適正取引の推進、「観光による被災地支援パッケージ」の確立
  - ・運動面:宿泊旅行拡大活動、国立公園・日本遺産活用への取組、観光を通じた被災地支援活動、貸切バスツアー需要拡大への取組み、Beyond 2020プログラム(日本博)の有効活用、DMOとの連携、「旅行会社の新たな役割研究会」の実施
3. 訪日旅行者4000万人への施策推進
  - ・制度面:旅行サービス手配業登録制度、住宅宿泊事業法、運送等のシェアリングエコノミーへの対応
  - ・運動面:安心・安全に向けた体制の構築、ツアーオペレーター品質認証制度の拡充、欧米豪市場の強化  
地方分散への一層の取組み、訪日旅行のバージョンアップ(品質向上)

### 経営環境整備活動

1. 経営基盤強化・健全化、変化する経営環境への対応、消費税への対応
  - ・制度面:デジタル社会における旅行業のあり方の検討、情報セキュリティ強化施策、有休取得率向上など働き方・休み方改革、大型倒産防止策への対応
  - ・運動面:有休取得率政府目標に合わせた個社別の目標達成支援、通報制度等海外旅行適正化ガイドラインの適切な運用、ボンド保証会員加入促進、ボンド制度の広報、情報セキュリティガイドライン推進、働き方・休み方のJATA会長表彰・先進事例の共有
2. 優秀な人材獲得・人材育成(産官学連携、JATA資格制度推進、従事者向け研修)
  - ・制度面:旅行業務取扱管理者定期研修、エリアスペシャリスト制度、階層別研修
  - ・運動面:インターンシップ・業界研究講座、大学提携講座、従業員向け研修・セミナー(法定・固有)、ツアーグランプリによる企画力の向上
3. 安全安心の旅の実現
  - ・制度面:旅行安全マネジメント、安全情報プラットフォームの定着化
  - ・運動面:旅行業法周知・遵守活動、「旅の安全の日」の推進、観光庁他関連機関・団体との連携

### 業界団体活動

1. 観光関連活動・予算、法整備に関する提案
  - ・議員等関係者、関係省庁への働きかけ・連携、祝日3連休維持
2. ツーリズムEXPOジャパン
  - ・観光交流による成長を全国に波及させるため、初めての地方開催(大阪・関西)
3. 障害者差別解消法・旅行商品のユニバーサルツーリズム推進
4. 国際観光機関・団体との連携強化
5. マスコミ全般への広報強化

### 組織・事務局強化

地方支部との連携強化